

事業所名

児童発達支援事業所toitoitoi

支援プログラム

作成日

2024年

12月

1日

法人（事業所）理念	将来的にそれぞれに応じて自立した社会生活を実現するため、乳幼児期の親子が安心して暮らせる生活のベースをつくります。									
支援方針	MBL (Movement Based Learning) をベースにした個別活動と少人数活動による支援を提供します。									
営業時間	午前の部 午後の部	9時 13時	00分 00分	から	12時 17時	00分 00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	トイレトレーニング、衣服の着脱、荷物の整理整頓、食事（おやつの時間を通して咀嚼やマナー、衛生指導）								
	運動・感覚	身体の基盤を作るためのマッサージとエクササイズ、体幹強化のための運動、全身の運動機能向上を目指す室内運動遊び・公園遊具遊び、散歩生活や学習の基礎となる「手指のスムーズな動き」を獲得するための遊びや課題 すべての運動機能の基礎となる感覚を刺激する遊び（様々な感覚素材を取り入れた遊び）								
	認知・行動	色や形、大きさ、数の基礎を習得する遊び、空間や時間の概念を習得する遊び、ひらがなへの興味や関心を引き出し遊びや生活に取り入れるための活動 短期記憶を養うための課題 ※認知の特性に応じて適切な情報処理が出来るように配慮することを前提とします								
	言語 コミュニケーション	発語を促すふれあい遊びやごっこ遊び、受容言語を増やすための課題、ジェスチャーやサインによるコミュニケーションの取り入れ、文章を組み立て発表する経験、子ども同士の関わりから生まれるコミュニケーションの支援 それぞれの特性に応じた読み書き能力の向上を目指した課題への取り組み								
	人間関係 社会性	自分自身を知り、自分を大切にしたい気持ちや育み、自分を好きになる関わりや活動 身近な大人を信頼し、安心して自己表現が出来るようになる関わりや活動 場面に合った言動が出来るようになるための活動				他者を受け入れる気持ちを持ち、共に楽しく過ごせるようになるための活動 定められた環境の中で待つこと、我慢することを習得するための活動 ゲームなど一定のルールを守ることで生まれる楽しさを味わえる活動				
※5領域はそれぞれが相互に関連し合っており、必ずしも1つの領域で支援が完成するものではありません										
家族支援	・面談やLINEによる相談、支援記録によるフィードバックと成長点や課題点の共有、きょうだい児の悩み事に対するアドバイスや支援を行います ・家庭で出来るマッサージやエクササイズ等の提案を行います				移行支援	・小学校入学を見据え、具体的に今すべきことや入学後に想定されることをお伝えし、継続的な支援を行います（幼児） ・こども園、幼稚園、保育所との連携を行います（幼児）				
地域支援・地域連携	地域の病院で行われている訓練内容や検査結果の共有を行い、可能な限り支援内容に反映します。また必要に応じて専門職（主にST, OT）との連携を図り、接し方や支援内容に大差が出ないよう配慮します。				職員の質の向上	外部講師によるオンライン職員研修（毎月）、外部講師による対面職員研修（年2回）を行い、支援内容の共有や技術向上を目指しています				
主な行事等	行事は行いませんが、季節の行事に触れる機会をつくっています									

事業所名 児童発達支援事業所・放課後等デイサービス
toitoitoi2nd

支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

1 日

法人（事業所）理念	将来的にそれぞれに応じて自立した社会生活を実現するため、乳幼児・学童期の親子が安心して暮らせる生活のベースをつくります。		
支援方針	MBL (Movement Based Learning) をベースにした個別活動と少人数活動による支援を提供します。		
営業時間	児童発達支援 放課後等デイ	9 時 学校 終了後 から	00 分から 12 時 00 分まで
	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	トイレトレーニング、衣服の着脱、荷物の整理整頓、食事（おやつを通して咀嚼やマナー、衛生指導） 生活する上での困りごとを自分から伝えたり考えたりしながら、自分の生活を快適に出来るよう支援する（小学生）	
	運動・感覚	身体の基盤を作るためのマッサージとエクササイズ、体幹強化のための運動、全身の運動機能向上を目指す室内運動遊び・公園遊具遊び、散歩 生活や学習の基礎となる「手指のスムーズな動き」を獲得するための遊びや課題 すべての運動機能の基礎となる感覚を刺激する遊び（様々な感覚素材を取り入れた遊び）	
	認知・行動	色や形、大きさ、数の基礎を習得する遊び、空間や時間の概念を習得する遊び、ひらがなへの興味や関心を引き出し遊びや生活に取り入れるための活動 短期記憶を養うための活動 ※認知の特性に応じて適切な情報処理が出来るように配慮することを前提とします	
	言語 コミュニケーション	発語を促すふれあい遊びやごっこ遊び、受容言語を増やすための課題、ジェスチャーやサインによるコミュニケーションの取り入れ、文章を組み立て発表する経験、子ども同士の関わり から生まれるコミュニケーションの支援 それぞれの特性に応じた読み書き能力の向上を目指した課題への取り組み	
	人間関係 社会性	自分自身を知り、自分を大切にできる気持ちを育み、自分を好きになる関わりや活動 身近な大人を信頼し、安心して自己表現が出来るようになる関わりや活動 場面に合った言動が出来るようになるための活動 他者を受け入れる気持ちを持ち、共に楽しく過ごせるようになるための活動 定められた環境の中で待つこと、我慢することを習得するための活動 ゲームなど一定のルールを守ることによって生まれる楽しさを味わえる活動	
	※5領域はそれぞれが相互に関連し合っており、必ずしも1つの領域で支援が完成するものではありません		
家族支援	・面談やLINEによる相談、支援記録によるフィードバックと成長点や課題点の共有、きょうだい児の悩み事に対するアドバイスや支援を行います ・家庭で出来るマッサージやエクササイズ等の提案を行います	移行支援	・小学校入学を見据え、具体的に今すべきことや入学後に想定されることをお伝えし、継続的な支援を行います（幼児） ・こども園、幼稚園、保育所との連携を行います（幼児） ・学校、学童保育、児童会との連携を行います（小学生） ・ライフステップ切り替えを見据えて情報提供や体制づくりのお手伝いを行います（小学生）
地域支援・地域連携	地域の病院で行われている訓練内容や検査結果の共有を行い、可能な限り支援内容に反映します。また必要に応じて専門職（主にST,OT）との連携を図り、接し方や支援内容に大差が出ないよう配慮します	職員の質の向上	外部講師によるオンライン職員研修（毎月）、外部講師による対面職員研修（年2回）を行い、支援内容の共有や技術向上を目指しています
主な行事等	行事は行いませんが、季節の行事に触れる機会をつくっています		